

プロジェクト演習 最終発表会

2011年2月17日に、3年生の必修授業、プロジェクト演習の最終発表会がありました。この授業は、配属が決まった研究室で、問題発見・解決方法の模索を通じて、実践的な学習をする授業です。

3年生は、半年かけた調査やプロジェクトの成果を全力で発表しました。教員もほぼ全員出席して、真剣に聞き、評価します。

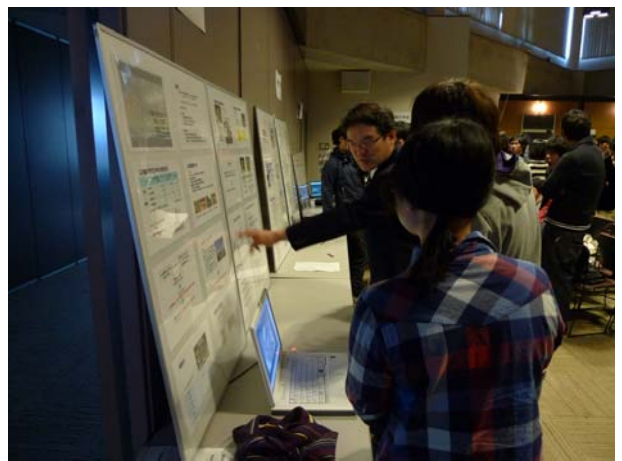
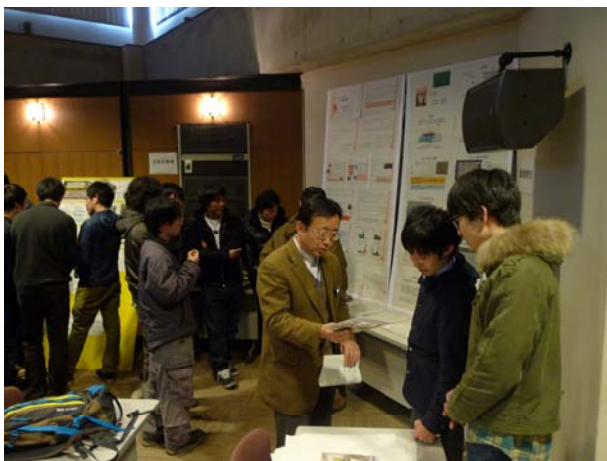
最終発表会はプレゼンテーションとポスター発表で構成されています。これによって、決まった時間内に伝えるべき事をわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力と、ポスター発表での質疑応答の力も鍛えられます。

今回の発表テーマは以下の通りでした。

吉野川の流域治水に向けた提言
第2室戸台風50年目の検証
木造校舎における揺れの検討と対策
風の威力
平面骨組の弾性解析に基づく新型パイプハウスの簡易設計
海から陸へ 陸から海へ
特定外来植物ナルトサワギクの生育要因
継手と定着の有無による耐力と破壊形状の比較検討
炭ポラコンの可能性
活性化に向けたまちづくり～自転車で来やすい駅の改造計画～
徳島らしいインターチェンジの提案
デザインビルド方式導入の大義名分を考える
南海地震における液状化危険度の判定
地盤工学会主催 そいるタワーコンテストへの挑戦



まずはパワーポイントを使ったプレゼンテーション。練習の成果が現れます。



次にポスター発表。各ポスターの前で質疑応答が行われます。演習の苦労話に話が及ぶことも。



風の強さを体験できる装置を作ったチームもありました



学生どうしも質問し合います